

令和 3 年 4 月 12 日現在

機関番号：55301

研究種目：奨励研究

研究期間：2020～2020

課題番号：20H00710

研究課題名 高専卒女性技術者の実証的ライフコース調査による高専女子キャリアの研究

研究代表者

谷口 亜紀子 (TANIGUCHI, AKIKO)

津山工業高等専門学校・技術部・技術専門職員

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 400,000円

研究成果の概要：技術系女子学生は専門職への就労継続を断念するケースが半数以上にのぼり、社会的な損失となっている。そのため女子学生に対するキャリア教育を再構成する必要がある。

今までの奨励研究（JSPS:17H00240, JSPS19H00038）において女性向けキャリア教育を受けていない世代の技術系専門職への就労は半数以下というデータが抽出されたため、キャリア教育の有無とその後のライフコースのあり方の関係という探求課題が浮上した。

本研究は在学時にキャリア教育を受けた女性卒業生5名に対しキャリアの見通しを聞き取り、すでに抽出している技術職現場におけるキャリア形成上の特徴に対し、質的かつ実証的に確度を上げた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

高専はその就学率が同世代の1%程度というマイノリティ教育機関であるため教育研究の対象とされることが稀であり、その教育に関する個別具体的なデータがとられる機会も少ない。また高専は技術者養成を第一の目的としているが、実際に工業高専卒業生のキャリア形成やライフコースについての実証データはとられていない。

特に本研究の様に高専就学者のなかでさらに少数となる女性に焦点をあてたものは情報が限られている。

こうした現状において、本研究は高専の教育現場、とくにキャリア教育の構成に際して有用な知見をもたらすものである。また、女子高専卒業生というマイノリティに注目することで、広義のジェンダー研究にも貢献している。

研究分野：教育社会学関連（キャリア教育）

キーワード：女子高専卒業生 ロールモデル キャリア形成事例

1. 研究の目的

本研究代表者は、高専における数少ない技術系女性常勤職員として勤務している。勤務先の津山高専においてこれまで数多くの女子学生・卒業生と関わってきたが、その過程で高専を優秀な成績で卒業し技術系専門職に就きながらも短期間で離職に至る事例や、技術系専門職への就労意欲を十分に獲得できない学生が少なくないことに気づいた。

これまでの研究(JSPS:17H00240, JSPS:19H00038)において津山高専女性卒業生20名に対し、ライフコースの形成過程とそれに対する主観的な把握のあり方に関する質的研究を実施した。これらの研究対象者は高専在学時に女子学生向けキャリア教育を受けていない世代であり、調査時まで継続して技術系専門職に就いていた対象者は20名中8名であった。そこでキャリア教育の有無および内容とその後のライフコースのあり方の関係という探求課題が浮上した。

津山高専では2011年度より組織的に女子キャリア教育を模索している。本研究では在学時に高専でキャリア教育を受けた女子学生が、在学時にえた見通しや就業後に歩んだキャリア形成過程について面談調査を行い、女子学生向けキャリア教育の影響、その必要性和方法に関する基礎資料を得ることを目的としている。また同じ対象者に対し、長期的に調査を継続することも見込んでいる。

2. 研究成果

本研究では、これまで断片的に観察してきた高専女子学生のキャリア形成・構想上のつまづき事例および技術系専門職としてのロールモデル獲得の成功・失敗事例をもとに、卒業1年以内の新卒者5名に対しキャリアの見通しや現状を聞き取り調査した。調査対象者を津山高専卒業生に限定したのは、比較対象となる前年度までの調査対象者を津山高専女性卒業生に限定したためである。

聞き取り調査の結果によれば、キャリア教育に対する考えは調査者によって大きく異なっていることがわかった。高専女子フォーラムや企業説明会等へ積極的に関わっている調査対象者は働くことをイメージできたことや様々な職種を見ることができたことなど役に立ったと回答していた。しかし、高専でキャリア教育を行っていたことさえ知らなかったと答えた調査対象者もあり、キャリア教育が意味を成していないこともわかった。同じ境遇にありながら個人の受け止め方により大きな違いがあり、この差を埋めるのもキャリア教育の新たな課題である。

今年度はコロナの影響があり通常の新入社員とは異なるスタートとなっているものの、今のところ5名とも仕事に対する意欲は高いこともわかった。5年後、10年後に自分がどうなっていたいかという思いも聞き取っており、そのときどのような人生を歩んでいるか追跡調査を実施予定である。

主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 谷口 亜紀子	4. 巻 第62号
2. 論文標題 技術系専門職に就く女子高専卒業者のキャリア形成阻害要因を探る	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 津山工業高等専門学校紀要	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件／うち国際学会 0件）

1. 発表者名 谷口 亜紀子
2. 発表標題 高専卒女性技術者のライフコース調査による高専女子キャリアの研究
3. 学会等名 第12回全国高専技術教育研究発表会 in久留米
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

研究組織（研究協力者）

氏名	ローマ字氏名